

財務諸表に対する注記

平成31年3月31日現在

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

①構築物

平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、平成19年4月1日以降に取得したものについては定額法によっている。

②車両運搬具

平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、平成19年4月1日以降に取得したものについては定額法によっている。

③什器備品

平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、平成19年4月1日以降に取得したものについては定額法によっている。

(2) 引当金の計上方法

退職給付引当金は、期末退職給付の要支給額に相当する金額から中小企業退職共済給付額を控除した金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込方法によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	5,194,500	0	1,401,180	3,793,320
減価償却引当資産	10,260,800	956,551	0	11,217,351
小計	15,455,300	956,551	1,401,180	15,010,671
合計	15,455,300	956,551	1,401,180	15,010,671

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	3,793,320	()	()	(3,793,320)
減価償却引当資産	11,217,351	()	(11,217,351)	()
小計	15,010,671	()	(11,217,351)	(3,793,320)
合計	15,010,671	()	(11,217,351)	(3,793,320)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
構築物	4,843,650	4,575,896	267,754
車両運搬具	4,021,213	3,689,440	331,772
什器備品	3,795,203	2,952,015	843,188
合計	12,660,066	11,217,351	1,442,714

5. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当期債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当期債権の当期末残高は、次のとおりである。

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金		0	0
合計		0	0

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付金	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
受取連合交付金	国	0	5,739,000	5,739,000	0	-
受取市町村補助金	市	0	20,000,000	20,000,000	0	-
合計		0	25,739,000	25,739,000	0	

7. 付属明細書

重要な固定資産の明細及び引当金の明細については、上記財務諸表に対する注記に記載しているため、記載を省略する。